

顛 末 書

名 称	第 5 回 お出かけ市長室～市長と語ろう！まちづくり意見交換会～
日 時	令和 6 年 8 月 21 日（水） 19：00～20：50
会 場	中央公民館 3 階 講堂
出席者等	・湯本市長 湯本 隆英 ・一般参加者 34 名 ・総合計画策定支援業務 委託業者 2 名 ・事務局：4 名 計 41 名
次第	1 開 会 2 第 3 次中野市総合計画・前期基本計画の策定に向けて 3 市長講演 4 意見交換 5 その他 6 閉 会
発言内容	別添のとおり

会議状況



別紙 発言内容（意見交換部分のみ）

Q 保育所建設の増額の記事について説明願いたい。「4 億 6000 万円を市が支援する予定」とはどういうことか。

A 現時点で、経費 4 億 6000 万の支援をお願いされているところだが、どこまで支援をするか、現在「検討中」。経費は予算が伴うため、9 月の議会へ上程・説明をし、進めていく予定。

Q 若者が移住して人口が増えている地域が、県内にある。そのような実績がある自治体のことを調べて、政策に生かしてもらいたい。

A 県内の南にある。その場所は、近くの市に働く場所があって、子育て世帯が来やすいように住宅補助等行うことで増えていると聞いている。整備できるものは整備していきたい。

Q 市外からの転入者がある程度いると思うが、中野市の何が魅力で転入してきたのか。この理由を調べて、政策に生かせればいい。

A 具体的な理由は様々だが、市としても移住・定住施策に力を入れているところ。企業支援等も含め、人口増につなげていきたい。

Q 地球環境について、危機感を感じている。特に夏が暑く、生き延びるのに精一杯。最重要課題でお願いしたい。具体的には、小水力発電等を行うのはどうか。

A 小水力発電は、過去に議会の一般質問でも受けたが水系の問題等があり、すぐできるという状況ではない。ご理解いただきたい。

Q HUBLIC について、民営化の矛盾が生じてきていると感じる。民間に任せて、どこがどの程度よくなったと感じているか。

A HUBLIC は指定管理者制度なので民設民営ではない。自分の娘にも聞いているが、利用者からの評判はいい意見が多い。

Q HUBLIC について、井戸水が流れているだけではもったいない。噴水にしているかどうか。

A 噴水は一時考えていたが、予算がまだまだだった。また考えてみたい。井戸は、今でもそれなりに遊んでいる子どもがいる。

Q ゲートボールをやっているが、HUBLIC の体育館でできる時期が冬のみ。
通年でできるように、年中マットを引きっぱなしにできないか。

A 当初、ゲートボール連盟と話をした際、「冬場のみ」という話で決まった。

Q 栗和田の水源地について。市の上下水道課のやり方に不満がある。担当課
に言ったが埒が明かないので、見に来てほしい。

A 今度見に行かせてもらう。